

# 波動

## 桜宮淳一

見ること自体忍耐が必  
要だった。この番組が現  
実に電波にのって放送さ  
れたことが信じられな  
い。1月2日、東京のM  
Xテレビ「ニュース女  
子」なる番組だ。ざっく  
りいえばニュースバラエ  
ティー番組（そんなカテ  
ゴリーが成立するかはと  
もかく）といえようか。  
「マスコミが報道しない  
真実」を伝えるのが番組  
のコンセプトらしい。

この回のテーマは「沖  
縄・高江の米軍ヘリパッ  
ド建設問題」。進行役の

東京中日新聞論説副主幹  
の長谷川幸洋氏が「軍事  
ジャーナリストというよ  
り軍事漫談家」と紹介し  
た井上和彦という人が現  
地で「取材した」VTR  
が流れる。この漫談家、冒  
頭から飛ばす。基地に反  
対する人たちをみて、  
「いました。反対運動の

## 悲しすぎる「ニュース」

連中」。すかさずナレー  
ションが「このまま突っ  
込んで襲撃されないです  
か」とフォロー。漫談家  
が少し近づくとそぶりを見  
せるが「このままだと危  
険と判断 ロケ中止」と  
いうテロップが画面全面  
に。こうして書いている  
だけで気分が悪くなる。

普天間基地の前で井上

漫談家のリポートは続  
く。「この元祖基地反  
対運動の人たちは土日お  
休みです」。そしてこの  
VTRの中でも最も醜悪  
な場面。座り込んでいる  
反対住民たちを「定年す  
ぎた人ばかり」と揶揄  
し「過激派デモの武闘派  
集団・シルバー部隊」と

呼んで「万一逮捕されて  
も生活に影響が少ない65  
歳から75歳」とナレーシ  
ョンとテロップでだめを  
押す。結局、高江には入  
らず「これ以上は危険で  
ロケ断念」として、漫談  
家一行は引き揚げる…。

沖縄の基地反対運動に  
対する、蔑み、あざけり、  
からかい。高齢だから速

捕されても生活に影響が  
ない人々と言いつけるナレ  
ーションを書いた人物  
は、いかなる神経の持ち  
主であるか。そこには沖  
縄の歴史と向き合い、こ  
の地で暮らしてきた人々  
への想像力もない。県民  
のこころをここまであか  
らさまに傷つけたメディ  
アは初めてだろう。この  
番組はニュースとは無縁  
であることはもちろん、  
テレビの先人たちが築い  
てきたバラエティーとい  
うジャンルへの冒瀆であ  
る。あまりにも悲しい。  
なぜこうした番組が生ま  
れたのか、テレビ人の端  
くれとしてその構造的な  
問題を直視しなければな  
らない。（さくらのみや  
・じゅんいち 在阪テレ  
ビ局報道記者）